

知的生産の技術8

20001127

“運命”を強く感じた時。
京都から宮城県へ
県外受験を考えていた時に
中3の10月に父が宮城県に
転勤することが決まったこと

先生の自分史は
大学時代のだけしか
ないんですか？
通して自分の歴史を
振り返ってみると、今まで
分からなかったことが
分かった気がした。
来週のタイプ別の職業は
すごい楽しみ

タイプ
1

久恒先生の講義では
自分について、深く
見つめ直すことが
出来るということを
改めて感じました。
また、先生の学生時代の
探検部の話は
とても興味深かったです。
また詳しく話してください

母親から学んだことが
今の自分に、少しは
影響してると思ったが
幼い頃から、あまり
話をしていない
父親からは影響をあまり
受けていないのかなと思った

生い立ちを振り返って見ると
両親が大きな存在だったように思う

先生の
人生の歩みを聞いたら
私の今までの生活が
恥ずかしくなりました。
真面目に私にあたる
環境と立ち向かわなくて
避けていく方法だけを
考えていました。
自分史を書くことで
私も本当の自分に
会いたいです

今日の生い立ちの
プリントをやっていると
いくつかの思い出が
少しずつ形を
作っていくのが
分かりました

自分に合ったことを
を見つけるために
新しいことに
挑戦することが
必要かもしれない

今を一杯生きる
とのことでしたが
逆に今を生きることで
一杯です。
生い立ちと言っても
今まで書いてきたことと
同じで書きにくい

タイプ
2

この前インターネットで
自分の誕生花の
花言葉を知りました。
その花の意味は
「努力」でした。
偶然だと思いますが
自分に合っている
言葉だと思う

先生の書いた自分史は
いい参考になりました。
大学時代に自分の国と他国の
文化や社会システムとかに
よく関心をもった方が良いと思う

私は今、やりたいことがありすぎる。
時間が過ぎるのが早すぎて
もったいなく思うし怖くなる。
充実しているが焦燥感がいつもある。
先生の話を聞き、なりたい
職業が私と似ていることに驚いた。
やはり私はタイプ3だと思った

私は自分にとって
本当の夢が
何か分からないが
いままで夢が変化し
成長してきたように
これから見つかるのかな

やはり生い立ちが
自分というものに
関わってくるのだなと
思った

私の生まれた時代と
両親が生まれた時代では
同じ人でもかなり
変わるのかなと思いました

将来の自分というものを
考えるとちょっと楽しみ

タイプ
3

自分のテーマなんて
考えたことがなかった。
これから意識していきたい

タイプ
4

夢がない日々を
むなしく感じます

自分の生い立ちが
どういうものだったか
思い出しづらかった

生い立ちは自分史をつくる上で
かなり重要なものだと思うので
家族などから、もっと多くの
情報を入手しようと思った

“軌跡”を読んで。
とても興味深く
参考になる自分史でした。
時代を的確にとらえていて
これを大学卒業のときに
書いたということに驚きました

親戚の話をしていて、友達に
「職業って性格が出るよね。」
と言われてはっとした

最近、自分を出すのが疲れている。
自分は両親から「人生」、兄弟
祖父母から「敬愛、自立」を学び
次は自分が伝える時です

色々な人の
先祖について
聞くのが
楽しかった

外人はみんながみんな
カッコイイわけじゃないんだと
気付きました

“今を懸命に生きる”
今日先生のお話の中に
出てきた言葉です。
とても印象的でした。
この言葉を聞き、今現在
私に与えられたものを
受け止め、精一杯生きれば
道は自然と開かれると思い
なんだか気持ちが
すっきりしました。
私の“自分史”が
完成するのが楽しみです

知的生産の技術8 20001127

今を懸命に生きると次のステップにつながる」という言葉を聞いてとりあえず今やると決めたことを全力でやろうと思った

自分でもびっくりです

タイプ 5

「人生のテーマは、その時では気付かず後になって見えてくるもの」という先生の言葉、非常に含蓄がありました。安易に「答え」を求めようとしてはきっと駄目なんですね

性格タイプですが職業との関連で考えるとやはり自分は複数のタイプに当てはまる気がします。自分で使い分けしているだけなのでしょうか？

テーマはその時で気付くものではなく後から気付くものであると思う

自分もいろいろな探検をして成長したい

私もまず身近にあることから頑張っていて最終的に色々なことを決めていきたい

今までの生い立ちがこれからの人生を左右するのだろう

先生の話聞いて将来の夢が次々と変わっていたことを知り自分は将来どんな職業に就くのだろうと思った

先生は 初めから大きなテーマをつくらなくてもいいとおっしゃっていましたが私はそれを聞いてホッとしました。なぜなら将来どういった方向に進んだらいいのかわからないからです。今のところそのテーマを探すことが私のテーマです

是非、自分史のHPを覗いてみたい。20世紀特番を注意深く見ていこうと思う。きっと自分が忘れていた思い出を引き出すことができるはずだ

現在の僕のテーマは「冷めた状況を打破する」です。例えば学内での学生会の人とそうでない人との温度差をなくすとか

タイプ 4

自分も海外勤務に憧れていたのもっと話が聞きたい

来週のタイプと職業の話はとも興味がある

生い立ちは覚えていない

タイプ 6

文化大革命の最後の年に生まれた私にとって童年時代の貧しさと家族の温かさを強く記憶された。今でもその二つのMemoriesが原動力として私を支えていく

自分に本当に向いている仕事を分かっている人は、実際少ないのではないのだろうか

人より書くことが少し多いと思うので頑張って書いていきたい

先生も昔はたくさん悩んだり失敗したりしたとい話を聞いて少し安心

先生の経歴の話は高校の学活の時に聞いたものの方が面白かった。今日は授業に全然集中できなかったので来週までに家でじっくり考えてこよう

大人になって昔を振り返ると今までの行動が1つのテーマとしてつながっているという話が好きになった。今の自分にできるのは好奇心のまま色々なことに目を向けてたくさんの経験をする事だと思う

自分自身がしっかりした夢を持ちそれに対して何か頑張ったのだろうかという疑問と立ちを感じた。漠然とした夢だけ持つような自分を変えたい。これからはそのために何が必要か考えていきたい

今を一生懸命に生きることが将来の自分につながるという言葉に心を動かされました

大学に入ったばかりの頃は「何でもやってみよう」と決めていました。でも「何でもやっている」の意味を履き違えて解釈していたのです。ふと色々なことが全て中途半端だと気がきました。「当たり前次第に」ただ手を出していただけでした。それに気づいた時今自分がすべき事、しなければいけない事、やりたい事を考えてみたら、少しづつそれが見えてきてそれについて「何でも」やってみるって事が大切なんだって気がしました

知的生産の技術8

20001127

今の私の考え方に
今までの自分の生い立ちの
どの部分が
影響しているのだろうか？

タイプ 7

私は普通の家庭より
厳しく育てられてきたと
改めて感じた

今日の生い立ちという
テーマでの質問は
何気ないことだけに
表現しにくい

自分は本当に
一般家庭に生まれて
きたんだなあ

思い出を自分史で
ありのままに書きたい

今日は先生自身の話ばかりで
正直にいうと退屈だった。
自分のためになる話が
もっと聞きたい。今の自分が
本当に看護を学びたいのかどうか
揺らいできている。どうしよう

タイプ 8

生い立ちとして
考えていこうとしても
やはり出会いとかも
関係してくるようになる。
最後に何か形として
まとめられそうな
気がしてきた

一族の話は
よく聞いていました。
今だに源頼朝とか官軍が
とか言っているのがすごい。
まだ源氏や官軍を
恨んでいるようです

今日の先生の話聞いて
自分史を書くのに
非常に役に立つと思った。
今を懸命に生きることが
大切である。自分にピッタリ
合っているテーマを探すのは
難しい。何かをやる中で
そのテーマは見えてくるのでは
ないか。なるほどと思った

最近年上の人で
人生経験豊かな人を
尊敬してしまう。自分の親が
一番そう思えるのかもしれない。
来週、性格タイプの職業選択の
講義が楽しみだ

先生は
面白い人生だなあと感じた。
自分の人生は今後
どうなっていくのだろう

生い立ちを考えると
やはり今につながっている

自分史を書いて
その時々自分を思い出せば
これから先、辛いことがあったりして
自分の事が嫌いになつた時
それを乗り越えることに
役立つだろうと考えた

そういえば家の柿木、柚子の木は
いつからあるのだろう。
小さい頃から毎年冬は
柚子湯という習慣である

タイプ 9

先生の
学生時代の事が
聞いて楽しかった

久恒先生の人生は
すごく波乱万丈で
聞いていてとても面白かった。
私も今を一生懸命生きて
早く自分にしかできない仕事
を見つけない

昨日、自分史の「はじめに-構成-」
というのを書き始めました。
自分史とは何か、自分史を作ることに込めた念
三編つくることとその内容、など等。
気持ちが高まります

他の人のアンケートを見ると
皆に比べて大きく成長した」と
書いてあるが、自分には
そんな実感があまりない。多分
何かを一生懸命になって
打ち込むことが
少なかったのだと思う

私もいろいろと
目標が変わっている

軌跡という文を読んだ。
とても興味深かった。
私もたくさんの異文化に
触れたいと考えている

生い立ちという視点から
今まで思い出されなかった
出来事や環境を思い出した

質問です。
顧客満足度上昇にて
実際に利益はどの程度
でたのでしょうか？
顧客満足度を客観的に
数値化するための何か
基準があるのでしょうか？
顧客満足の戦略は
企業だけでなく
全ての分野に必要と
されていると実感します。
サービスなどの質的なものを
数式化するときの弊害なども
いろいろ知りたい

知的生産の技術8 20001127

先生は大学時代から、とても勉強していたんだろうな
と思っていたら
意外にもそうではなく
また就職しても、上手く
何でもこなしていると思ったら
失敗したりもして
先生に対して
とても親しみを覚えた。

色々な夢や希望を
見つけること
持つ事でさえも
難しいのに
それらを全て
経験してしまうなんて
すごい驚きでした

今までに就きたいと思った職業は
2,3個だけれど今はその職業とは
全く違う方向に進んでいってる。
自分の意志で今の道を
進んでいると思っていたけれど
改めて考えてみると疑問が残る

先生が
大学でたくさんの
素晴らしい経験を
したということが
とても羨ましい。
私は今、大学で
自分の好きなことを
探している途中です。
このままでは
何もできないまま
大学生活が
終わってしまうのでは
ないかと心配です

改めて初めから通して
生い立ちを見てみると
ようやく一人の人間像が
浮かび上がってきました。
今回「あなたの家系は
どのような人がでていますか」
というものがありますが
あれは自分の生い立ちに
何か関係があるのでしょうか

今の自分の考え方が
父や母から学んだ事に
大きく影響している
ということに気付いた。
両親の生き方が
私の人生の手本に
なっている気がした。
また家族の
ありがたみを実感

先生の会社に入って
初めての仕事が
ソロバンうちだという
ことだったので
びっくりした。先生の
“自分は探検家”という
言い訳は面白かった。
でも本当に
そうじゃないかなあ

誕生日とは、親が子に
生まれてきてくれてありがとう、
と言い、子が親に
生んでくれてありがとう、
と言う日だと以前読んだ事がある

幼年期の頃の記憶は
あまりないが
親に聞いてどんな幼年期を
過ごしてきたのかが分かった

自分にピッタリなものに
いきなり会うことはない、
という言葉に
ウンウン頷いていました

この講義を受けていると
これまでの小・中・高の
学習の総決算のように
感じる。これまでの私を
まとめることで将来の
自分自身の方向性を
決めるポイントになる気がする

生い立ちについて考えると
頭に浮かぶのは
家の中のゴタゴタした雰囲気です

時代背景とか
考えると楽しい。
もう自分は18年
生きたのだと実感



懸命に生きると
よく言われますが
なかなか出来ません。
自分のタイプに合った
職業を早く知りたい

早く自分に合った
職業を知りたい

様々なことに家族が
影響していると思った。
特に母親からの影響は
すごい感じる。
色んな意味で母親は
20年先を生きている
自分の姿なのかなと思うし
そうであつたらいい

こんな風に生きてと思うのは
“奉仕”ということです。しかし
こんな風に生きられていません。
特に後期になってからは
自分のことで一杯です

生い立ちを振り返ってみて
だんだん私の自分史が
見えてきたように思う
これからもっと内容を
つめていきたい

親から何を学んだか？
具体的に考えると
何も思いつかない

私は今まで
“その場のしぎ”
の人生を
送っているような
気がします。だから
自分に合った職業を
探す事が
とても難しく感じる

生い立ちだけでも
かなりの量があるので
出会い、出来事を加えたら
すごい「自分史」が
できるのではないかな

最近「自分は看護に向いていないのではないか」と
思い始め看護の勉強への意欲をなくしていたが
今日「そのテーマが向いているか否かはやり通して
みないと分からない」というお話を聞いて目が覚めた。
私は「向いていない」と決め付けて
ただサボっていただけだったのかもしれない。
“あなたは父母、祖父母、兄弟から何を学んだのか？”
という質問の答えにつまってしまった。考えてみれば
この19年間私は彼らから何を学んだのだろうか

一番上の私は
一時期、何で自分が
一番上なんだろう
2人ともいなければ
よかったのに...と
思っていたことを
思い出し、そんな風に
思っていた自分が
ふと恐ろしくなった

自分が今まで
何を目標に
してきたかを
先生の話で
改めてまた
考え始めた。
将来の目標を
これからゆっくり
考えていきたい

今回紹介してもらった
ホームページは面白そう

学級崩壊がない時代に
生まれてきてよかった

瞑想で
寝てしまいそうになる。
いつもどこからか
寝息が聞こえます

育った環境を考えると
改めて幸せだということ
を感じた。家族に感謝したい